

ヤマザキパン本体が厳しい業績推移。特に下期に主力部門の食パン、菓子パンが苦戦

	連 結				単 体			
	実 績	前期比	前期差	予想比	実 績	前期比	前期差	計画比
売 上 高	1兆594億円	100.6%	63億円	99.5%	7,483億円	100.5%	34億円	99.2%
営 業 利 益	243億円	80.9%	▲57億円	87.3%	171億円	74.5%	▲58億円	87.6%
経 常 利 益	266億円	82.8%	▲55億円	88.5%	207億円	78.5%	▲57億円	89.4%
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	135億円	53.9%	▲116億円	83.5%	123億円	69.2%	▲55億円	89.7%

- ・ 4月よりヤマザキパンの新経営体制がスタート。生産・営業各部門の体制整備に時間を要し、最優先課題へのスピーディで精度の高い種蒔きが不十分だった。
- ・ 10月以降、抜本的な体制整備を進め、「経営小委員会」、「デイリーヤマザキ・Yショップ製品施策・営業戦略小委員会」を設置。更に本年1月、種蒔きの仕事を担う生産本部の体制強化を図り、今期回復を目指す。
- ・ 西日本豪雨、記録的な猛暑、地震等も下期売上に影響。ヤマザキパン本体の7月価格改定も、消費マインド冷え込み、数量減で売上苦戦。各種コスト増加をカバーできず収益低迷。
- ・ 不二家は菓子事業順調、洋菓子事業も改善傾向。ヤマザキビスケットは期初計画を大幅に下回るも着実に業績改善。サンデリカ、東ハトはコスト増で減益も売上順調で、今期回復を目指す。ヴィドフランスは品質重視の施策で営業黒字転換。